

目標に向けた取組についての自己評価

重点領域1		学力の向上			
項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
1	<b>学び方スタンダード</b> 「深川小教え方スタンダード」8項目を毎日、毎時間実施する。	86%	学び方スタンダード定着度調査8項目で「よくできる」と回答する児童を90%以上。	91%	A
2	<b>国語スタンダード</b> 国語スタンダード定着度調査の前年度結果を基に言葉の学習や読み取りの学習指導の強化を図り、全学年が前年度からの向上を目指す。	76%	国語スタンダード定着度調査結果、全学年の目標達成率85%以上。	85%	B
3	<b>算数スタンダード</b> 各学年の内容の100%定着した児童を85%以上にする。	72%	東京ベーシックドリル、全国・都の学力調査、スタンダード定着度調査等で学年の目標達成児童80%以上。	80%	B
4	<b>英語スタンダード</b> 英語を遣う機会を積極的に設け、英語を遣う抵抗感をなくす。月1回のEnglish Dayの実施。	76%	3・4年生 英語であいさつし、簡単なコミュニケーションがとれる児童70%以上 5・6年生 英語で自己紹介し、簡単なコミュニケーションがとれる児童70%以上	88%	B
5	<b>進んで学ぶ児童の育成</b> 児童が主体的に学んだり、話し合ったりする等学習指導の工夫を行う。	93%	「進んで学習することができた」「学習が楽しい」と回答する児童を80%以上。	95%	A

<結果についての分析と改善策>

- ・国語スタンダード定着度調査の結果分析から読んだり聞いたりしたことから自分なりに考える力に課題が見られる。物語文の読解や互いに話し合う学習を通して、そうした力を身に付けていく。
- ・算数スタンダード定着度調査の結果分析から基礎的な計算力や思考力について課題が見られる。朝学習や昼のチャレンジタイムを活用し、短時間で集中してプリント学習に取り組み力を付けていく。

重点領域2		豊かな心の育成			
項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
1	<b>いじめ防止</b> 特別の教科道徳の時間にいじめ防止や生命尊重に関する指導を年3回以上行い、自他を思いやる児童の育成を図る。	100%	いじめ防止アンケート「深川っ子シート」により振り返り、自分や他者を大切にできる気持ちをもつことのできる児童80%以上。	95%	A
2	<b>道徳授業の充実</b> 道徳授業地区公開講座等で積極的に道徳授業を公開し、アンケートで「学校は道徳教育を推進しているか」の設問に肯定回答する保護者を85%以上にする。	93%	「特別の教科道徳の時間」で自分の行動を振り返り、考えたり、話し合ったりすることができたと思う児童75%以上。	90%	A
3	<b>異学年交流活動</b> 異学年による交流活動（交流給食・遊び・読み聞かせ）や事前・事後の指導を通して児童の思いやりや相互の連帯感が深まったと感じる。	71%	異学年交流で下学年の世話をしたり、思いやりをもって接したりすることができた児童、「お兄さん、お姉さんにやさしくしてもらった」という児童が90%以上。	93%	A
4	<b>ボランティア活動</b> ボランティア活動を通して他者に対する思いやりや地域に貢献する気持ちをもつ児童の育成を図る。	86%	地域清掃等のボランティア活動を通して人のために活動する喜びを感じる児童が80%以上。	88%	B

<様式1>

5	<b>読書活動の充実</b> 読書を通して豊かな心を育成するため、目標読書を推進し、日常読書に親しめる児童90%	77%	年間読書目標 低学年30冊 中学年 7,000ページ 高学年 10,000ページ 90%以上	70%	B
<p>&lt;結果についての分析と改善策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニコニコ班活動（異学年交流活動）を更に日常化し、異学年で一緒に過ごす場や時間を取り、下学年に対する思いやりや上学年に対する感謝の気持ちをもてるようにする。</li> <li>・日常読書の推進に力を入れたり読書目標を見直したりして、児童が読書に親しみ目標をもって読書に取り組めるようにする。</li> <li>・年間を通して定期的に地域清掃等のボランティア活動を行い地域に貢献する気持ちを育てる。</li> </ul>					

重点領域3		体力の向上			
項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
1	体力スタンダード 体力スタンダードの内容に沿った、自分の目標が立てられる児童を90%以上にするとともに、自分の目標が達成できた児童を80%以上にする。	85%	体力スタンダードの内容に沿った、自分の目標を立て、その達成に向けて努力する児童が80%以上。	85%	B
2	体力向上 体力・運動能力調査の結果を踏まえて各学年の重点取組課題を決め、体育の時間等で取り組み、体力・運動能力調査結果、都平均を前年度より20%向上を目指す。	80%	体力・運動能力調査から自分の課題を知り、日常的にその向上を目指す。ウキウキスポーツ、ウキウキタイムに外に出て体を動かした児童が80%以上。	92%	A
3	自己の健康管理 「健康ファイル」により毎月・長期休業日後に生活チェックを実施し、家庭との連携を強化して、「早寝・早起き・朝ご飯」等の習慣が定着している児童を90%以上にする。	77%	「早寝・早起き・朝ご飯」が定着した児童が90%以上。	77%	B
<p>&lt;結果についての分析と改善策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童が「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を付け、健全な学校生活を送れるようにする。家庭との連携を図り、特に長期休業明けには規則正しい生活リズムを付けるためにチェックカード等を活用し、児童に規則正しい生活習慣が身に付くようにする。</li> </ul>					

重点領域4		保護者・地域との連携			
項目	努力指標（教師側）	達成度	成果指標（こども側）	達成度	評語
1	<b>地域深川学校</b> 地域人材・保護者ボランティアと連携した授業の実施や地域教材の活用。	93%	各取り組みで、学習意欲の高まりや地域についての理解を深め、地域への愛着を感想にもつ児童80%以上。	90%	A
2	<b>教育活動の見える化</b> 学校公開、学校便り、学校掲示板等を利用し、教育活動を積極的に公開し、保護者・地域の学校への理解や信頼を高める。	70%	「学校は、積極的に情報発信をしている。」と回答する保護者が80%以上。	96%	A
3	<b>学校・地域愛の育成</b> 145周年を機会に学校の歴史や地域の歴史を学んだり、学校・地域に貢献したりする活動を年間3回以上行う。	100%	145周年に関する様々な活動を通して学校・地域への愛着を感想にもつ児童80%以上。	90%	A
<p>&lt;結果についての分析と改善策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・145周年の記念児童集会を通して学校や地域を愛する心が少しずつ育ってきた。今後も地域人材を活用し、児童が地域を知り、愛する心を育てていく。</li> <li>・ホームページや学校だよりを通して学校の日常の教育活動を保護者・地域に発信する機会を増やしていく。</li> </ul>					